

事業名称	えーえむあーる i n ぶちフェス
団体名・代表者	ひめじ Sub かるフェスティバル実行委員会 実行委員長 岩井靖夫
協働の相手方	地域医療課

目的	姫路駅北にぎわい交流広場で開催させていただいているコスプレイベントを通して AMR（薬剤耐性）対策の普及啓発を行う。これまで普及啓発活動を行っていた世代とは違う世代へアピールをするとともに、姫路に訪れた観光客や通行人への啓発活動も行っていく。今後、薬物耐性対策推進月間での毎年開催を目指し、イベントのひと枠として継続普及を目指していく		
内容	・ ステージMCによる開催目的の説明を随時行う…開催の目的・目標をはっきりさせるため ・ 医師によるAMR（薬剤耐性）の説明…専門家による正しい知識の説明のため ・ 姫路大学による出張保健室 ・ AMRに関するパネル展示 ・ コスプレイヤーや地元アイドルによるステージからの広報活動 ・ 啓発チラシの配布		
事業経過	8月 6日 第1回打合せ会	場所：カラプレ工房	
	9月 18日 第2回打合せ会	場所：カラプレ工房	
	10月 1日 広報活動 FMゲンキ出演	場所：イーグレひめじ	
	10月 31日 第3回打合せ会	場所：カラプレ工房	
	11月 7日 第4回打合せ会	場所：カラプレ工房	
	11月 21日 最終打合せ会	場所：カラプレ工房	
	11月 24日 事業本番	場所：駅北にぎわい広場	
事業の効果	駅北にぎわい広場でのパフォーマンスやコスプレ交流により、観客はもとより通行人や観光客の多くが足を止め、薬剤耐性（AMR）について興味深く聞いていただいた。 AMRのパネル展示や姫路大学による出張健康診断にも多くの方に参加いただいた。従来とは違った啓発活動が功を奏して、AMRに対して真剣に考えて頂く一助となりました。		
今後の展望	薬剤耐性（AMR）についてはまだまだ理解が深まっていないこともあり、まずは興味を持って近づいて頂く方法を実施することが、一つの解決策とも言える。 従来型ではない方法を今後もテストしていくことで、AMRのみならず発信していくことに協力していきたい。		

【実施団体の事業総括・感想等】

コスプレといった文化と薬剤耐性（AMR）がこういった相乗効果を生み出せるのか興味深かったが、アニメや漫画には医療関係の作品も多く、立ち止まった方々から興味を引く一因にはなったと思う。健康診断といった受け入れやすい内容でのアプローチも功を奏し、従来のチラシ配布での啓発活動よりも効果のある方法と感じた。

【協働の相手となった所管課の感想等】 ※実施団体は記入しないでください

従来のAMR対策啓発はポスター・パネル展示など受け身の活動が多く、周知に限界があった。今回協働事業を行ったことで姫路駅前に訪れた若者や観光客など、年齢や市内外問わず多くの方に普及できた。市の啓発活動に堅いイメージを持たれていた方にも、コスプレイベントを通してより親しみを持って関わっていただけたのではと感じる。